

会 議 結 果 の お 知 ら せ

令和7年度第4回宮古市地域公共交通会議を次のとおり開催しました。

令和8年3月31日

宮古市地域公共交通会議

1 開催日時

令和8年3月25日（水） 午前10時00分～午前11時15分

2 開催場所

宮古市市民交流センター1階 会議室1・2

3 議題

(1) 協議事項

- ア 令和7年度収入支出決算見込みについて
- イ 令和8年度事業計画（案）及び収入支出予算（案）について
- ウ 宮古市地域公共交通会議規約の改正について
- エ 田の浜線の再編について
- オ 宮古市地域公共交通計画の改定について

(2) 報告事項について

- ア 山田線利用促進アクションプランの策定について
- イ 中学生フリー定期券交付実証事業について
- ウ みやこお出かけ回数券の実施状況について

4 会議の概要

別添のとおり

5 問い合わせ先

企画部公共交通推進課公共交通推進係 電話0193-68-9134

令和7年度第1回宮古市地域公共交通会議

1 出席者（15名）

- ①岩間健会長 ②佐々木隆文委員 ③田頭勇人委員 ④三浦芳範委員
- ⑤今野聡委員 ⑥鈴木一成委員 ⑦川崎利治委員 ⑧越田則夫委員
- ⑨久保田香奈枝委員 ⑩中坪政男委員 ⑪立花郁巳委員 ⑫小野寺哲委員
- ⑬佐々木拓委員 ⑭小野寺哲委員 ⑮小野寺利幸委員

2 欠席者（7名）

- ①川口恵子委員 ②高橋智委員 ③佐々木拓真委員 ④佐々木亜津子委員
- ⑤中村三樹彦委員 ⑥村上佳祐委員 ⑦村上早紀子委員

3 オブザーバー（1名）

- ①岩手県北自動車株式会社 荒屋敷正剛

4 事務局出席者（3名）

- ①企画部公共交通推進課長 松浦宏隆
- ②企画部公共交通推進課公共交通推進係長 山田貴之 ③同係主事 山崎千穂

5 傍聴者

2名

6 議事等（議長：会長）

(1) 協議事項

ア 令和7年度収入支出決算見込みについて

事務局より宮古市地域公共交通会議の令和7年度収入支出決算見込みを説明した。

質疑等はなし。

イ 令和8年度事業計画（案）及び収入支出予算（案）について

事務局より宮古市地域公共交通会議の令和8年度事業計画（案）及び収入支出予算（案）の概要を説明した。

質疑等は別紙のとおり。

ウ 宮古市地域公共交通会議規約の改正について

事務局より宮古市地域公共交通会議規約の改正の概要を説明した。

質疑等はなし。

エ 田の浜線の再編について

事務局より田の浜線の再編の概要を説明した。

質疑等はなし。

オ 宮古市地域公共交通計画の改定について

事務局より宮古市地域公共交通計画の改定の概要を説明した。

質疑等はなし。

(2) 報告事項について

- ア 山田線利用促進アクションプランの策定について
事務局より山田線利用促進アクションプランの概要を報告した。
- イ 中学生フリー定期券交付実証事業について
事務局より中学生フリー定期券交付実証事業の実績を報告した。
- ウ みやこお出かけ回数券の実施状況について
事務局よりみやこお出かけ回数券の概要および実施状況を報告した。

(3) その他

特になし。

質疑応答内容

質問・意見	回答
<p>【議題(1) 協議事項「イ 令和8年度事業計画(案)及び収入支出予算(案)について」】</p> <p>(委員)</p> <p>J R山田線利用促進ツアー事業を計上しているが、現在山田線が運休している。</p> <p>事務局において、運行についてなど何か情報は持っているものか。</p> <p>(会長)</p> <p>現在山田線が運休していることについて利用者からはどのような声があるか。また、今後どのような対応を考えているか。</p> <p>(委員)</p> <p>八木沢・宮古短大駅のアクセス路はいつ頃完成予定か。</p>	<p>(事務局)</p> <p>現在J Rにおいて、モルタルが落下した箇所 の点検、同様のトンネルの点検を行っており、 明確な運行再開日程決まっていない。情報 収集に努める。</p> <p>(委員：東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社)</p> <p>トンネル上部のモルタル落下により山田 線を運休させていただいている。ご利用の皆 様、沿線の皆様にご心配、ご不便をおかけし ますこと大変申し訳ございません。</p> <p>現在の状況は事務局から説明があったと おりであり、調査を進めている。現時点で具 体的な状況などを皆様にお知らせできるま での状況には至っていない。その点を早々に 進め、状況等をお伝えできる体制を整えるこ とを進めている。その間、安全確保のため運 休という形を取らせていただいております。大 変申し訳ございません。ご理解ご協力を賜り ますようお願いいたします。</p> <p>(事務局)</p> <p>山田線運休期間中については、県北バスと の共同経営により、106特急・急行バスを利 用するよう案内をしている。</p> <p>しかし朝早い便などにおいて、山田線でない と仕事に支障が出るとの声も出ている。</p> <p>今後どのくらいの期間の運休になるかはJ Rと情報共有しながら、利用者の声を収集し ているところである。</p> <p>また、4月以降、高校の新学期が始まるため、 市内全高校に対し、生徒が通学する際に不便 が出る場合は、市公共交通推進課に連絡する よう案内し、情報収集を行っている。</p>

<p>【議題(1)協議事項エ「田の浜線の再編について」】</p> <p>(委員)</p> <p>山田町で導入するA I オンデマンドバスの概要を教えてください。</p>	<p>今後どのような要望があるかは分からないが、利用者の声を受けながら、必要であれば、宮古市、盛岡市、岩手県においてJ Rに要望することも検討している。</p> <p>(委員：岩手県北自動車株式会社)</p> <p>現在山田町の町内の路線バス「お買い物循環バス」は時間を決め運行している。この運行形態から、運行本数を減らし、予約によりコースを変えながら、ご利用いただく。</p> <p>予約がある時に運行することで運行の効率化を図る。</p> <p>車両は通常の路線バス車両を使う。</p> <p>乗車場所は停留所になり、「〇〇バス停」で乗りたいと予約いただく。</p> <p>予約は、Webや電話により受け付け、A Iを活用し、予約状況に応じてバスを運行する。</p> <p>(オブザーバー：岩手県北自動車株式会社)</p> <p>路線バスは定時定路線が基本であるが、需要が少なくなり、お客様のニーズに合わなくなっている。集約型の輸送から、個人型の輸送に需要が変化している場合に、区域運行として、お客様の予約があった時に、その方向にバスやワゴン車を運行するのがA I オンデマンドである。</p> <p>ただし、A I オンデマンドの導入を上手く進めるのは難しく、導入する地形や住居の配置、需要の大きさによるため、A I オンデマンドを導入すれば全てが解決するものではない。路線バスで維持できなくなった場合の公共交通の選択肢の1つと覚えてもらえればと思う。</p>
--	---